

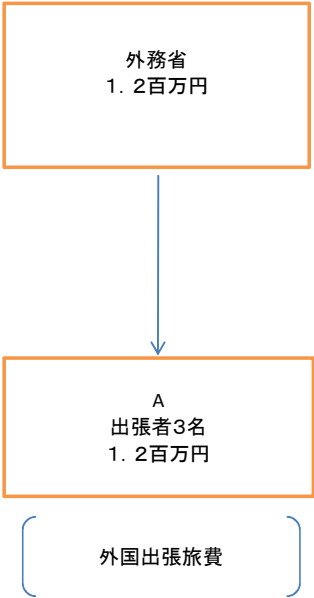
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	対日理解促進プログラム関係経費	担当部局庁	北米局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度開始	担当課室	北米第二課	課長 大鶴 哲也				
会計区分	一般会計	施策名	I-2 北米地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項ロ、第二項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日米首脳会談において一致した。日本の高速鉄道分野における協力について実現するために、官民で連携し、米国において我が国の新幹線技術等に対する正しい理解と認知度の向上を図るとともに、今後の協力のあり方を協議する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日米首脳会談において一致した。日本の高速鉄道分野における協力について実現するために、官民で連携し、米国において政府関係者、公共政策・環境政策関係の学者、ビジネス関係者等を対象として我が国の新幹線技術等に対する正しい理解と認知度の向上を図るとともに、今後の協力のあり方を協議する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	6	—	8	2	2	
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	6	—	8	2	2	
	執行額	4	—	1				
	執行率(%)	75.1	—	14.8				
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度
22年度においては米国においてのセミナーの開催を予定していたが、23年度においては業務を円滑に進めるための意見交換等を米側と行う。		成果実績	人	660		916		
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	6月にシカゴ、1月にロサンゼルスにて、国土交通省、経済産業省と共催という形で高速鉄道セミナーを開催し関係者が参加した。		活動実績 (当初見込み)	セミナー開催回数	2		2 (2)	— ()
単位当たりコスト	(円／)		算出根拠					
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	2,135	2,308					
	計	2,135	2,308					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	22年度においては、米国において2回のセミナーの開催を計画していたが、関係省庁においても同種の事業が計画されていたことを受け、戦略的・効率的に事業を進めるとの観点から、国土交通省及び経済産業省と共催という形で、6月にシカゴ、1月にロサンゼルスにて高速鉄道セミナーを開催した。これに伴い、当省予算では担当者の当該セミナーへの参加旅費のみの使用となり、予算の効率化を図ることが可能となった。23年度においても本事業の実施にあたっては職員の出張、専門家の派遣に際して可能な範囲で安価な航空券の購入に努める等、予算の適切な執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	会議等参加	1.2			
	計		1.2	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人 A	会議等参加	0.5		
2	個人 B	会議等参加	0.3		
3	個人 C	会議等参加	0.4		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					